

2023年度 ニチキッズ新前橋駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

| 評価方法 | | |
|----------------|------|--|
| 保育士等（全職員）の自己評価 | 評価期間 | 2023年1月4日（木）～1月19日（金） |
| | 実施方法 | 全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。 |
| 保育施設の評価 | 評価日 | 2024年3月19日（火） |
| | 実施方法 | 話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。 |

| 項目ごとの評価 | |
|-------------|--|
| 保育理念 | 理念の理解について、研修のほか職員間で学び合い、会議やMTの他、意見が交わせる環境作りを心がけ、保育の向上に努め、保育者自ら思いっきりあそび、学び、子どもたちの「思いっきり」保育に繋げる。 |
| 子どもの発達援助 | 経験のみに任せず、繰り返し学び直すことで年齢別による成長発達を理解し、子ども一人一人の発達を受けとめる。子どもとの関りを十分に持つ中で信頼関係を築いたうえで、余裕のある見通しを持った保育を行う。 |
| 保護者に対する支援 | 子どもの様子を十分把握した上で、家庭と共通認識の中で発達支援を行う。園の様子に触れる機会を少しずつ設けるとともに、コミュニケーションを大切にし様子を伝えた。保護者の気持ちに寄り添い代弁する。 |
| 保育を支える組織的基盤 | 子どもに背を向けず、職員配置を意識した関りをし、安心安全保育に努める。職員間で気持ちよく対話し、研修によるスキルアップや質の向上を目指し、学び合える環境にする。不適切保育のないよう、意識し合い改善の為に話し合える環境作りをする。 |

| 総評 |
|---|
| 会議やミーティングの他、日ごろの職員間での対話が大切と思われる。現状に満足することなく何度も基本に戻り、学び直したり他の職員から学んだりする姿勢を持ち、保育の向上につなげていく。子どもが安心して過ごせるように、一人ひとりの子どもの発達や様子を理解し、子ども、保護者ともに信頼関係を築いたうえで、繰り返しの経験の中、子どもの気持ちに寄り添った保育が出来るよう意識していく。作業を軽減し余裕を持った保育は、決して大人が楽をしたり、大人の都合で保育を進めることなく、子ども主体の保育を意識していく。同じ反省や課題を繰り返すことのないようにする。 |